安全上のご注意

1. このページに記載される安全上のご注意をよくお読みください。
2. ユーザーズマニュアルは今後のために大切に保管してください。
3. 掃除をする前に、この装置をAC電源から取り外してください。
   掃除をする際は、液体やスプレー洗剤をご使用にならないでください。
   湿った布などで掃除してください。
4. 装置はコンセントの近くに起き、コンセントに届きやすいよう設置してください。
5. 装置は湿気のある場所に置かないでください。
6. 装置を安定した場所に置いてください。装置を不安定な場所に置くと、落ちたり、破損の原因になることがあります。
7. 装置についている穴は通気孔です。装置の加熱を防ぐためのものです。これらの穴は絶対にふさがないでください。
8. 電源に接続するときは、電圧をお確かめの上、接続してください。
9. 電源コードは通行などの邪魔にならないよう配置してください。電源コードの上には何も置かないでください。
10. 装置に関するすべての注意事項および警告事項をよく守ってください。
11. 装置を長期間ご使用にならない場合は、変圧器の破損を防ぐため、コンセントから外しておいてください。
12. 火災や感電の恐れがありますので、穴などに液体を注ぎ込まないでください。
13. 装置の解体は絶対におやめください。安全上の配慮から、装置の解体は専門技師にのみ許可されています。
14. 次のような状況が発生した場合は、すぐに専門技師にお問い合わせください:
    (a) 電気コードやプラグが破損した場合。
    (b) 装置に液体がこぼれた場合。
    (c) 装置が湿気のある場所に置かれた場合。
    (d) 装置がうまく作動しない場合や、ユーザーズマニュアル通りに操作しない場合。
    (e) 装置を落としたり、破損した場合。
    (f) 装置に明らかな破損の傾向がある場合。
15. この装置は、エアコンのない密封環境に放置しないでください。60°C (140°F)以上の場所に保管すると、装置を破損する恐れがあります。また、IEC704-1:1982に基づく装置の音量圧力レベルは、70dB(A)(を含む)以下です。
16. 危険: この装置を開くと、目に見えない放射能が発生しますので、直接触れないでください。
    FDA放射線標準、21 CFR第J項を満たしています。
    レーザーパワー:ウェーブ長さ:783±3mm(CD); 658±3nm (DVD)
    放出能力: :0.7mW
    レーザーダイオード:class 3b

ご注意

!! ドライブを自ら解体しないでください。カバーを取り外すと、危険性のあるレーザー光線や電圧に触れる恐れがあります。欠陥のあるドライブは、お買い上げ店に返品し、専門技師に修理を依頼することを強くお勧めします。

- ドライブの郵送や返品には、本来の梱包をお使いください。この商品の梱包は、ドライブが運送条件に耐えるよう設計され、テストされています。
- ドライブを直射日光のあたる場所や、過熱の恐れのある場所、電気製品の付近に放置しないでください。
- 柔らかい、きれいな布でドライブを掃除してください。ドライブが湿気や液体(水、洗剤などを含む)に触れないようご注意ください。
- ディスクは清潔に保ちましょう。録音/録画前に柔らかい、きれいな布でディスクの表面をふき取ることにより、バーニングデータの完全性が高まります。
- ドライブを落としたり、ぶつけたりしないでください。
- ドライブの周囲は、ほこり、煙などがないよう、清潔な環境を保ってください。
- 各国の著作権法が各著作の再製などを管理しています。ご利用になる際は、無許可で著作を再製することが違法となることもありますのでご注意ください。
- HDDからデータをコピーする方が、"オン・ザ・フライコピーモード"でコピーを実行するよりも成功率が高くなっています。よって、イメージファイルの作成に十分なバッファスペース(CD の場合は少なくとも 650MB、DVD の場合は 5MB。お使いのドライブが Double Layer DVD-R または Dual Layer DVD-R への書き込みに対応している場合、最低 9GB の容量が必要です)を残しておくことをお勧めします。

目次

はじめに

信頼性の高い高パフォーマンスな記録可能DVD/CDライター、リライター、そしてプレーヤーである、本DVDライターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本マニュアルを注意深くお読みになり、いつでも取り出せるよう保管してください。インストール、操作、トラブルシューティングに関し、本マニュアルをご参照ください。

DVDライターとは

DVDライターとは 記録可能DVD/CD-再書き込み可能なドライブで、書き込み、再書き込み、読み込みのプロ級のDVD/CDパフォーマンスを提供します。デジタル多用途ディスク(DVD)も読み込めます。本多用途ドライブの主な特長は:

DVDの場合

- DVD+R(記録可能DVD)メディアへの書き込み
- * 二層DVD+R (書き込み可能DVD+R9)メディアへの書き込み
- DVD+RW(再書き込み可能DVD)メディアへの書き込み
- DVD-R(記録可能DVD)メディアへの書き込み
- * *二層DVD-R (書き込み可能DVD-R9)メディアへの書き込み
- DVD-RW(再書き込み可能DVD)メディアへの書き込み
- DVD（DVD+R, DVD+RW, DVD-R, DVD-RW, DVD+R9, DVD-R9）メディアの読み込み
- *** DVD-RAM メディアへの書き込みまたは読み取り

CDの場合

- CD-R (記録可能CD)メディアへの書き込み
- 高速 CD-RW (再書き込み可能CD)メディアへの書き込み
- 全てのCD-ROMとCD-Rメディアの読み込み
- CD-RWとCD-DA（オーディオ）メディアの読み込み

(注:本ドライブの書き込み、再書き込み、読み込みの最大速度は外箱に記載されています。*ご利用のドライブが二層DVD+R書き込みに対応している場合のみ、DVD+R9メディアへの書き込みが可能となります。ご利用のドライブが二層DVD-R書き込みに対応している場合のみ、DVD-R9メディアへの書き込みが可能となります。*** ご利用ドライブが DVD-RAM の読み取りまたは再書き込みに対応している場合のみ、DVD-RAM メディアへの読み取りや書き込みが可能となります。)**

本ドライブはランニングOPC (ROPC)をサポートしており、Windows Plug & Playと互換性があります。フラッシュメモリで、ドライブを開くことなしに最新のファームウェアリビジョン(ウェブサイトより入手可能)ドライブのアップグレードが可能です。バッファアンダーランプルーフ技術でバッファアンダーランエラーが解消されますので、CD-R/CD-RW, DVD-R/DVD-RW or DVD+R/DVD+RWディスクへの書き込み中で

あっても、その他の目的のためにコンピュータを安心してお使いいただけます。

形式の互換性

この DVD レコーダは多様化光学ディスクドライブです。CD 書き込み機能については、オレンジブックに対応しています。パート 2 CD-R ボリューム 1 / パート 2 CD-R ボリューム 2 マルチスピード / パート 3 CD-RW ボリューム 1 (低速として知られる) / パート 3 CD-RW ボリューム 2:高速 / パート 3 CD-RW ボリューム 3:超高速、書き込みmアプリケーションソフトとの組み合わせでCD-R/RW ディスクへ。

DVD 書き込み機能については、このドライブは DVD+R バージョン 1.3 / DVD+R9 バージョン 1.0 (二層 DVD+R 書き込み対応ドライブのみ) / DVD-R9 バージョン 3.0 (二層 DVD-R 書き込み対応ドライブのみ) / DVD+RW バージョン 1.3 / DVD-R バージョン 2.1 / DVD-RW バージョン 1.2、DVD-RAM バージョン2.2 (DVD-RAM 再書き込み対応ドライブのみ) に対応しています。

読み取り機能については、次のすべてのメディアに対応しています:DVD 一層/二層 (PTP、OPT)、DVD-R、DVD+R、DVD+R9、DVD-R9、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM (DVD-RAM 読み取り対応ドライブのみ)。

このほかに、すべての CD 形式およびメディアの読み取りに対応しています:CD-DA、CD-ROM、CD-ROM/XA、Photo-CD、マルチセッション、Karaoke-CD、ビデオ CD、CD-I FMV、CD Extra、CD Plus、CD-R、CD-RW。

レコーディングモード

トラックアットワンス

一度に一トラックのデータをディスクに記録することができます。新しいトラックは後に追加できます。音楽CDは、ディスクが完了するまで、CDプレーヤーやCD-ROMでは再生できません。

ディスクアットワンス

一度にデータをディスクに記録することができます。このモードでは、新しいトラックを後に追加することはできません。

セッションアットワン

一度にワンセッションのデータを一枚のディスクに記録することができます。新しいセッションは、このモードの後で書き込まれます。トラック間にギャップがないため、更に多くのディスクスペースを使用することができます。

マルチセッション

ワンセッションのデータを一枚のディスクに記録することができます。新しいセッションは、このモードの後で書き込まれます。トラック間にギャップが生じるため、使用できるディスクスペースは減少します。

パケットライティング

データのバックアップに効果があります。データは、直接 メディア上のトラックに加えられるか、直接 メディア上のトラックからのみ削除できます。このモードを使用する場合、パケットライティング機能をサポートしたソフトが必要となります。

DVDライターでできること

- デジタルビデオやスライドショーをDVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWディスクへ書き込み。
- *二層DVD+R書き込みはDVD+R9ディスク対応の場合のみ可能。
- **二層DVD-R書き込みはDVD-R9ディスク対応の場合のみ可能。
- 追記型、書き換え可能CD メディア上におけるデータ書き込み及びオーディオ記録。
- 音楽CDの演奏。
- VCD & DVD映画の上演。
- DVDに記録された双方向型リファレンス資料にアクセスします。
- 写真および他のイメージを追記型、書換可能CDにセーブします。
- イメージおよび動画をDVDやCDに記録します。
- DVDやCD上で新しいソフトウェア・プログラムをマスターします。
- LightScribe ラベルディスクの作成と書き込み
- ***DVD-RAM 読み取りまたは再書き込み対応ドライブは、DVD-RAM ディスクからの読み取りや書き込みが可能です。

【**LightScribe** ディスクラベル技術についての詳細は、**”LightScribe** ユーザガイド**”** もご覧ください。】

システム構成

システム環境

安定した読み込み/書き込み/書き換えパフォーマンスを保証するために、次の特徴を持つIBM互換性PCシステムが推薦されます。

ATAPI/E-IDE ドライブ:

CPU	Pentium 4 1.3GHz以上
OS	Microsoft Windows 2000/XP
メモリ	ご使用のオペレーティングシステムに要求されるRAMに対応。(256MB以上を推奨)
ハードドライブ	CDイメージファイルについては最低650MBの空き容量、DVDイメージファイルを片面DVDディスク(4.7GB)に書き込むには最低5GBのディスク空き容量、* Double Layer DVD+R9 または Dual Layer DVD-R9 ディスク (8.5GB) については、DVD イメージファイル作成用に 9GB 以上の HDD 空き容量が必要です。 *(操作中はHDDの温度調整機能を有効にしないでください。)*
インタフェース	空きのIDEインタフェースコネクタ

シリアル ATA ドライブ:

CPU	Pentium 4 1.3GHz 以上
OS	Microsoft Windows 2000/XP
メモリ	OS の RAM 要件を満たしている必要があります (最低 256 MB 推奨)
ハードドライブ	CD イメージファイル作成用に最低 650 MB の空き容量 DVD イメージファイルを作成し、一層 DVD ディスクを作成するため、最低 5 GB の空き HDD 容量 DVD イメージファイルを作成し、二層 DVD+R9 または二層 DVD-9 ディスクを作成するため、最低 9 GB の空き HDD 容量 *
インターフェース	利用可能なシリアル ATA インターフェースコネクタ

注意事項:
高速のハードドライブによっては「自動サーマル・リカリブレイション」機能が装備されている場合があります。書き込みエラー(バッファ・アンダーラン)を回避するために、BIOS設定においてその機能を無効にしておいてください。

****お使いのドライブが Double Layer DVD+R9 または Dual Layer DVD-R9 ディスクに対応しているか、本来の梱包をよくご覧ください。***

機能と調整

正面図

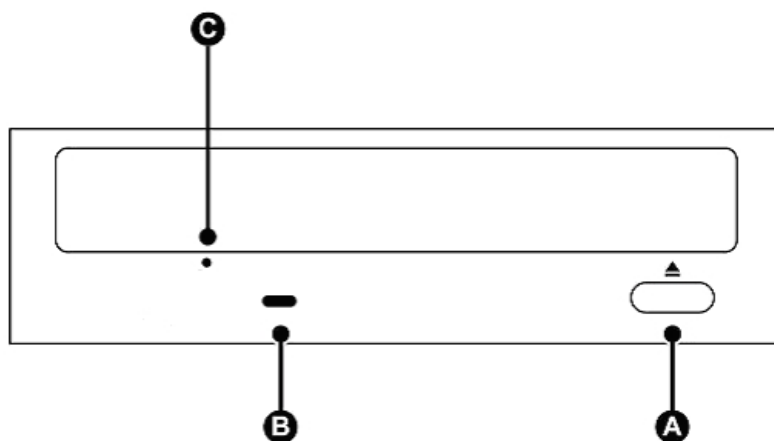



図: DVD ライターの正面図

A	イジェクト/クローズボタン	トレイを引き出す/閉じるための押しボタン。
B	ビジー/書き込み **LED**	ドライブの作業状態を示します。点灯はビジー状態を示し、点滅している場合は書き込み/再書き込みの状態を示します。
C	エマージェンシィイジェクトホール	イジェクト・ボタンが機能しない場合、このホールに小さな棒やクリップの先を差し込んでください。トレイを引き出すことができます。 ***注意:** この手動でのトレイ引き出を実行する前に、電源をオフにしてください。*

背面図

ATAPI/E-IDE ドライブ:

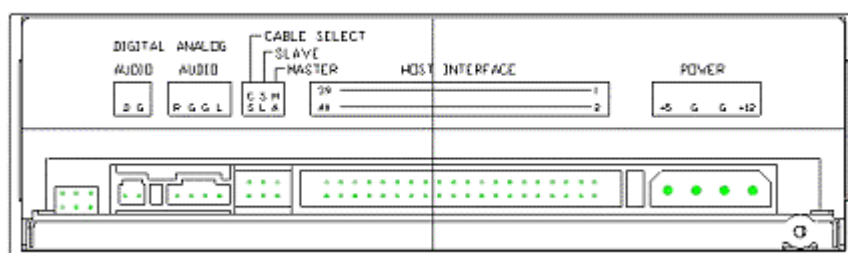



図: ATAPI/E-IDE ドライブの背面図

A	パワーコネクタ	DCパワー入力に対する4ピン・コネクタです。
B	ホスト**IDE**インタフェースコネクタ	E-IDEインタフェースに対する40ピン・コネクタです。
C	デバイス構成ジャムパー	ドライブモードをIDEマスタ、スレーブ、ケーブルなどに設定するための6ピン・ジャンパ・コネクタです。
D	アナログオーディオ出力コネクタ	アナログオーディオ出力に対する4ピン・コネクタです。サウンドボード、オーディオ・アンプに接続に使用します。
E	デジタル・オーディオ出力コネクタ	デジタル・オーディオ・データに対する2ピン・コネクタです。ソニー/フィリップスのデジタル・インタフェース(SPDIF)またはデジタル・インをサポートするサウンド・ボードに接続します。

シリアル ATA ドライブ:

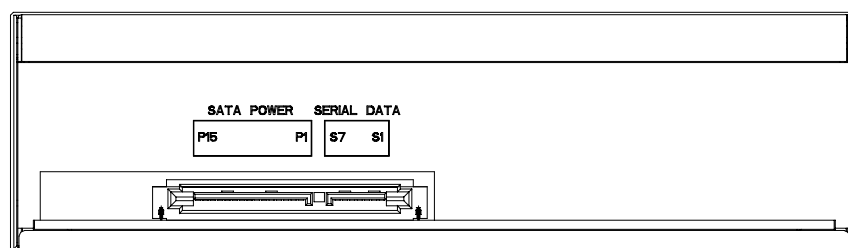



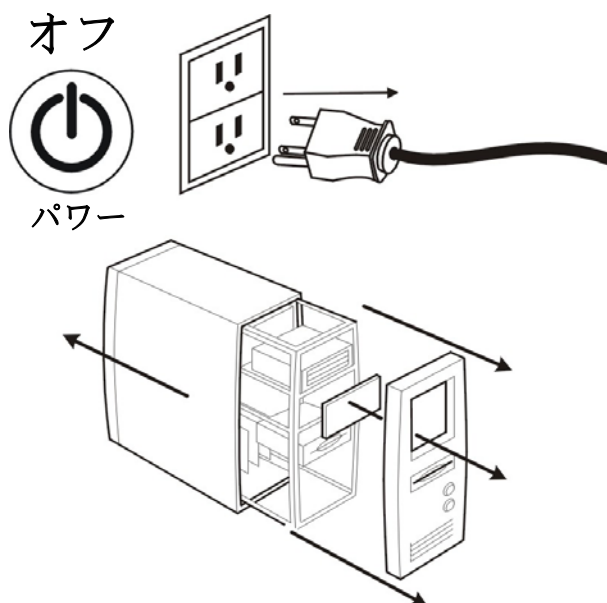
図: シリアル ATA ドライブの背面図

シリアル ATA 電源コネクタ	DC 電源入力用 15ピンコネクタ
シリアル ATA データコネクタ	シリアル ATA データインターフェース用 7 ピンコネクタ

ATAPI/E-IDE ドライブのハードウェアインストール

DVDライターのインストール

この章ではコンピュータに **DVD**ライターをインストールする手順を説明します。インストール方法は以下の通りです**:**

1. コンピュータシステムの電源をオフにし、コンセントからプラグを抜いてください。
2. コンピュータのカバーを外します。

3. **DVD**ライターの後部パネルにあるマスタ/スレーブ・ジャンパを設定します。
(ハードディスクドライブ及び **DVD**ライターの操作性をベストの状態にするため、**DVD**ライターを *マスタ*・デバイスとして *セカンダリ***IDE**ポートに接続することを強く推奨します。**)**

◆ **IDE**ドライブの設定**:**

(A) ハードディスクは、プライマリIDEポート上のマスタ・デバイスとして接続されています。セカンダリ IDEポートには何も接続されていません。
➔ DVDライターのジャンパをマスタに設定し、DVDライターをマスタとして

セカンダリ IDEポートに接続してください。

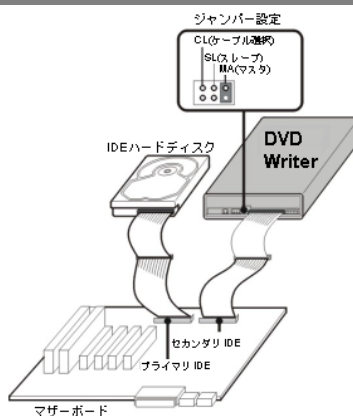



図:構成(A)

(B) ハードディスクは、マスタ・デバイスとして、またCD‐ROMやDVD‐ROMはスレーブとして、プライマリ IDEポート上に接続されています。セカンダリ IDEポートには何も接続されていません。

➔ DVDライターのジャンパを<u>マスタ</u>に設定し、DVDライターをマスタとしてセカンダリ IDEポートに接続してください。(“ファスト・コピー/オン・ザ・フライコピー”をお求めの場合、この設定により最速のコピー・スピードが実現できます。)

➔ CD‐ROMまたはDVD‐ROMを取り外し、それを<u>スレーブ</u>に変更してからセカンダリ IDEポートに再接続してください。次にDVDライターのジャンパを<u>マスタ</u>に設定し、DVDライターをマスタとしてセカンダリ IDEポートに接続してください。(この設定はハードディスクの使い勝手をベストの状態にします。CD‐ROMと同時に作動している場合でも、ハードディスクのアクセス・スピードが減速することはありません)。

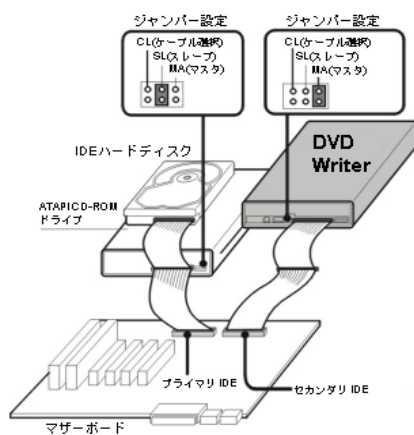
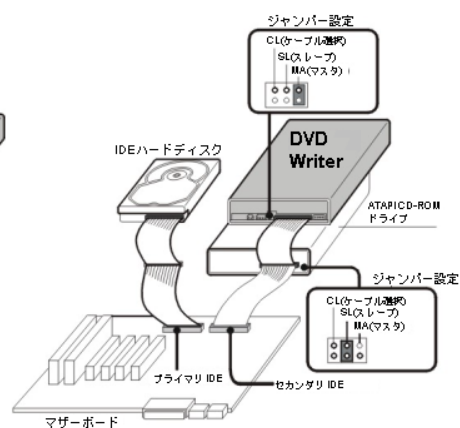



図:構成(B-1)　　*図:構成(B-2)*

(C) ハードディスクは、マスタおよびスレーブデバイスとしてプライマリ IDE ポート上に接続されています;CD‐ROMまたはDVD‐ROMは、マスタとしてセカンダリ IDEポートに接続されています。

➔ CD‐ROMまたはDVD‐ROMを取り外し、それをスレーブに変更してからセカンダリ IDEポートに再接続してください。DVDライターのジャンパをマスタに設定し、DVDライターをマスタとしてセカンダリ IDEポートに接続してください。

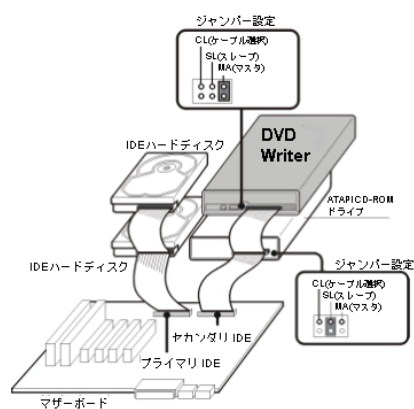



図:構成(C)

◆ジャンパの交換:

マスタ/スレーブ・ジャンパは、 DVDライターを *マスタ*もしくは*スレーブ*デバイスに設定するために使用されます。下図はジャンパ設定の実例図です。

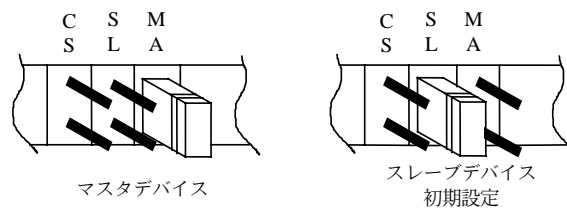



図: マスタ、スレーブデバイスの設定。

注意:MAおよびSLセットのため、同時に2つのジャンパを使用しないでください。

CS (CSEL)
CS設定を選択した場合、ハードウェア構成に応じ自動的にマスタ/スレーブ設定が行われます。

4. DVDライターとケーブルの接続

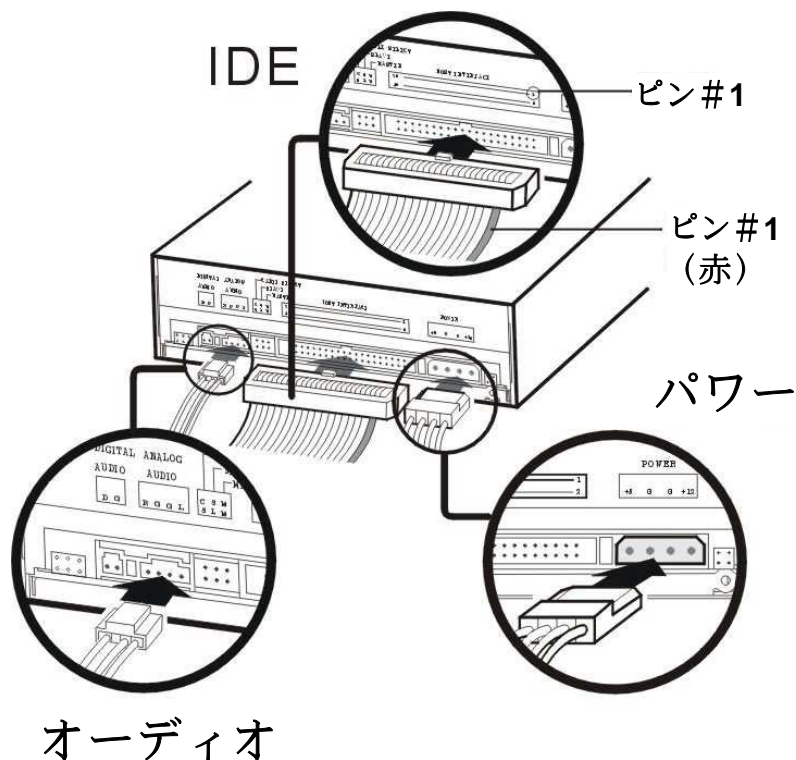



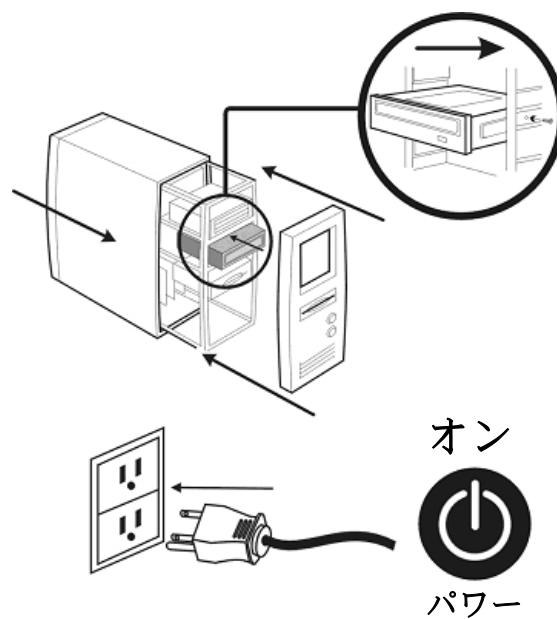
図:ケーブルの接続

(A) IDEケーブル:ドライブをコンピュータに挿入する前に、IDEケーブルの片方のコネクタをドライブの後部パネル上のIDEコネクタに接続します。そしてオープンベイの前面からマザーボードへケーブルを渡します。

(B) パワーケーブル:コンピュータとドライブのパワー・コネクタにパワーケーブルを接続します。ほとんどのコンピュータで、フリーパワーコネクタが事前に設定されています。

(C) オーディオ・ケーブル(オプション)
サウンドボードをご利用の場合、アナログ・オーディオ・ケーブルを接続する必要があります。ドライブ後部パネル上の4ピン・アナログ・オーディオ出力コネクタと、サウンドポートをケーブルで接続してください。お手持ちのサウンドボードがソニー/フィリップスのデジタルインタフェース(SPDIF)、あるいはデジタル・インを装備してあり、デジタル・オーディオ出力を利用する場合は、デジタル・オーディオ・ケーブルをご使用ください。

5. 空の仕切り部分に **DVD**ライターを水平に注意深く滑り込ませ、しっかりと組み込ませてください。次に、コンピュータカバーを元に戻してください。

6. コンピュータをコンセントに接続し、電源スイッチを入れてください。

シリアル ATA ドライブのハードウェアインストール

1. PC の電源を切り、すべての電源コードを取り外します。
2. PC カバーの取り外し方については、PC のユーザーズマニュアルを参照してください。
3. 空のベイを見つけ、ドライブをこのベイにスライドさせ、4つのネジでドライブを固定します。
4. シリアル ATA データケーブルを、PC のマザーボードまたは PCI カード上にあるプライマリまたはセカンダリシリアル ATA ポートに接続します。
5. シリアル ATA データケーブルのもう片方をドライブに接続します。

   メモ: シリアルATA データケーブルコネクタのピンの定義は、下図と同様です。
6. (オプション) シリアル ATA 電源アダプタには4ピンを使用する必要がある場合があります。これは、PC 電源の電源コネクタにより異なります。もし必要な場合、この4ピンを PC 電源からシリアル ATA 電源アダプタに取り付けます。
7. シリアル ATA 電源コネクタをドライブ背面の電源コネクタに接続します。

   メモ: シリアル ATA 電源コネクタはシリアル ATA データケーブルよりも大きいサイズです。シリアル ATA 電源コネクタのピン定義は、下図と同様となります。
8. PC ケースを元に戻し、電源コードを接続します。

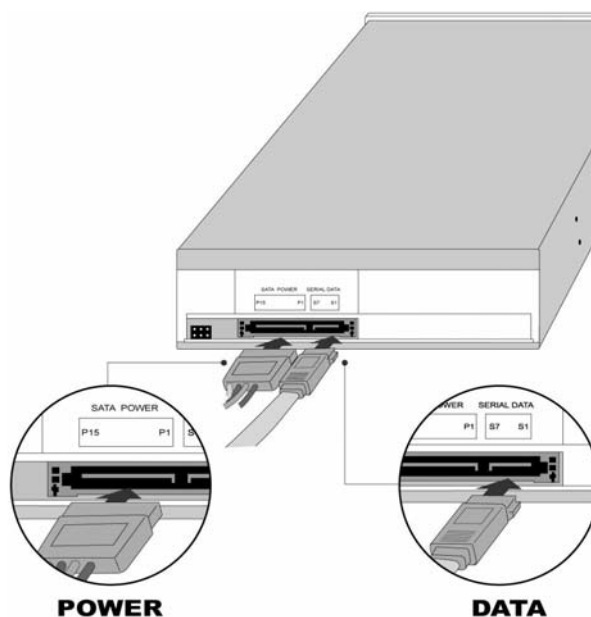



図: シリアルATA ドライブの背面パネル

操作方法

必要なデバイス・ドライバのインストール

DVDライターはWindows上で、インストールおよびセットアップのための“CD-ROMドライブ”として機能します。また、 DVDライターの全ての機能をご利用になるには、ソフトウェアの追加インストールが必要な場合があります。

コンピュータで**DVD**ライターを使用するには**:**

- **CD‐ROM**ドライブとして使用する場合**:** Windowsオペレーティングシステム(Windows XP、Windows 2000)のほとんどに、一般的なCD‐ROMデバイス・ドライバが搭載されているため、DVDライターを標準のCD‐ROMドライブとして使用できます。他のソフトウェアをインストールする必要はありません。
- **DVD**‐**ROM**ドライブとして使用する場合**:**コンピュータのオペレーティングシステム（Windows 98SE/MEを除く）上では、DVDライターをDVD‐ROMドライブとしても使用することができます。その他のDVD再生用ソフトウェアをインストールする必要はありません。
- **CD**再書き込み、**DVD**再書き込みを行う場合**:** CDまたはDVDメディアに書き込みを行うには、追加ソフトが必要となります。パッケージに含まれる書き込み用ソフトウェアキットにより、マスタリングやパケットの書き込み、コピー、ハードディスクやファイルのバックアップ、オーディオ・キャプチャ、など多彩な機能をご利用になれます。

トレイのロードとアンロード

(1) **DVD**ライターの電源がオン状態の時に、フロントパネル上のイジェクトボタンを押してください。数秒後にトレイが自動的に引き出されます。

(2) トレイのへこみ部分にディスクのラベル面を上にして置きます。ディスクがトレイに水平になるよう気をつけてください。

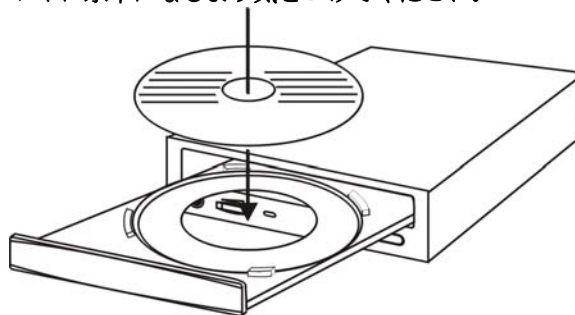



図:トレイをロードします

(3) イジェクト・ボタンをもう一度押すと、数秒以内にトレイはスライドして戻ります。

CDs & DVDsへの書き込み

ご使用の前に、CDやDVDの書き込み、及びDVDの再生に適切なソフトウェアがインストールされているか確認してください。書き込みソフトやDVD再生ソフトはパッケージに同梱されているCDキットにより異なります。

ソフトウェアとマニュアルについて

同梱のソフトウェアにより、簡単な操作で最高の仕上がりが期待できます。書き込みや再生ソフトに関する詳細なユーザーマニュアルは、書き込みソフトのインストール時に、コンピュータへ自動インストールされます。DVDやCDへの書き込みに関しては他のソフトパッケージも入手可能です。その詳細については、ご興味のあるソフトウェアの製造元ウェブサイトをご覧ください。また、ソフトのユーザーマニュアルや、ソフト内のヘルプオプションをご参照ください。操作手順の詳細については、ユーザーマニュアルをご覧ください。

推奨の追記型&書き換えメディア

CD-R/RW またはDVD+R/+RW メディアの中には、製造品質の違いに因り、書き込みできないものがあります。本ドライブとの使用に好結果が実証されている下記製造元のCD-R/RW およびDVD+R/+RW メディアのご使用を推奨します。

CD-Rメディア:	COMPACT disc Recordable	CMC, Daxon, DST, Fornet, Fujifilm, GAT, Gigastorage, Infodisc, KingPro LeadData, Maxell, MBI, MCC, MPO, NanYa, Postech, Princo, Prodisc, Ramedia, Ricoh, Ritek, SAST, SKC, Sony, TDK, Taiyo-Yuden
Low Speed CD-RWメディア:	COMPACT disc ReWritable	CMC, Daxon, Gigastorage, Infordisc, LeadData, MCC, Princo, Prodisc, Ricoh, Ritek
High Speed CD-RWメディア:	COMPACT disc ReWritable High Speed	CMC, Daxon, Fornet, Gigastorage, Infodisc, LeadData, MCC, NanYa, Princo, Prodisc, Ricoh, Ritek
Ultra Speed CD-RWメディア:	COMPACT disc ReWritable Ultra Speed	CMC, Daxon, Infodisc, Mitsubishi, Prodisc, Ritek
DVD-Rメディア:	DVD R	Maxell, Mitsubishi, TDK, Sony(16X)
DVD-R9メディア:	DVD R R DL	MKM
DVD-RW メディア:	DVD RW	CMC, JVC, MKM, Ritek, TDK

DVD-RAM メディア	DVD RAM	Maxell, Panasonic
DVD+Rメディア:	RW DVD+R	CMC, MBI, Mitsubishi, Taiyo-Yuden, TDK, Sony(16X)
DVD+R9 メディア:	RW DVD+R DL	Mitsubishi, Ricoh, Ritek
DVD+RW メディア:	RW DVD+ReWritable	Infodisc, MBI, MCC, Philips, Prodisc, Ricoh, Ritek, Sony
LightScribe メディア:	lightScribe DIRECT DISC LABELING	CD-R: HP, CMC, MCC, MBI DVD+R: HP, CMC, MCC, MBI

注: ***(1)** ご利用のドライブが二層 **DVD+R** 書き込みに対応している場合のみ、**DVD+R9** メディアへの書き込みが可能です。また、ご利用のドライブが二層 **DVD-R** 書き込みに対応している場合のもみ、**DVD-R9** メディアへの書き込みが可能です。ご利用のドライブが **DVD-RAM** 読み取りまたは再書き込みに対応している場合のみ、**DVD-RAM** メディアからの読み取りや書き込みが可能です。*

***(2)** ドライブの書き込み、再書き込み、読み込みの最大速度は外箱に記載されています。*

***(3)** 予告なく変更されることがあります。*

CD & DVDの再生

再生用ソフトウェア

最初にDVD再生用ソフトウェアをコンピュータにインストールしてください。お手持ちのコンピュータにDVD再生用のソフトウェアがインストールされていない場合、CDキットに含まれたDVD再生用ソフトのご利用をお勧めします。

映画およびDVDを含むオーディオCD、録画済みDVDディスクをすぐに再生することができます。CDやデジタル・ビデオ・ディスク (DVD)を再生するには、ラベルを上(CDの場合)にしてディスクを挿入します。この DVDライターは、一層および二層両方のDVD再生が可能です。

オーディオCDの演奏

オーディオCDの再生には、オーディオ・ケーブルをドライブ後部上のアナログ・オーディオ・コネクタへ、もう一方の端子をサウンドボードへ接続してください。

サウンドボード経由で音楽を再生する場合、Windows Media PlayerまたはCD Player Taskbarのボリューム・コントロールで音量を調整します。またサウンドボード上で音を消し、ヘッドホンやセルフ・パワー式のスピーカで音楽を聞くこともできます。

最初にDVDを再生する場合

事前に設定されたリージョン・コードにより、北アメリカ、ヨーロッパ等特定地域以外では再生ができないDVDがあります。DVDライターの出荷時にはこのリージョン・コードがセットされていませんので、コードを設定されているDVDをDVDライターで初めて再生する際には、ドライブにリージョン・コードを設定する必要があります。

その後にリージョン・コードが異なるDVDをドライブに挿入すると、リージョン・コードの変更承諾を求めるメッセージが表示されます。そのメッセージを承諾しない限り、異なるリージョン・コードのDVDを再生することはできません。変更を認めた場合のみ、 DVDライターのリージョン・コード設定変更が可能です。

但し、 DVDライターのリージョン・コード変更は、最大5回までです。5回を超えた場合、ドライブのコード設定変更はできなくなります。

LIGHTSCRIBE ユーザーズガイド

以下の LightScribe 章では、LightScribe ディスクラベル対応ドライブに関する情報です。ドライブ本来のパッケージをご覧になり、ご利用のドライブが LightScribe ディスクラベル機能に対応しているかどうかを確認してください。

図: LightScribe ロゴ

LightScribe の使い方

LightScribe で CD や DVD にラベルをつけるには、次のアイテムが必要です。

- LightScribe 対応ドライブ
- LightScribe ラベリングソ フトウェア (ドライブに含まれています。その他の LightScribe 対応アプリケーションもあります)
- LightScribe メディア (コンピュータ専門店でお求めになれます)

LightScribe ディスクのラベリングは、データの書き込み前、または書き込み後に行うことができます。また、データを書き込んだかどうかにかかわらず、複数のディスクに連続してラベリングを行うことができます。

重要なことは、LightScribe ラベルを書き込むときは、常に LightScribe ディスクラベル側を下にして挿入することです。

LIGHTSCRIBE ラベルディスクの作成と書き込み方法

1 LightScribe ラベリングソ フトウェアを開始します。
- ラベリングアプリケーションはディスク書き込みソ フトウェアの一部である場合もあり、そして単独のアプリケーションである場合もあります。

2 デザインに合った適切な LightScribe 設定を選択してください。
- ほとんどの LightScribe 対応ラベリングアプリケーションでは、ラベルをデザインする前に "LightSctibe" オプションを選択する必要があります。

3 ラベルデザインを作成します。
- テキストやグラフィックのあるラベルを作成するよう選択することができます。また、ラベルを記載するディスクエリアを、単なる文字のみ ("タイトルのみ") からディスク全体を覆うもの ("フルラベル") まで選択することができます。
- テキスト、フォント、そのまま使える背景、オリジナルフォトやグラフィックなどを使ったラベルを試し、自分の好みに合わせたものを作成してください。(アイデア、アドバイスなどについては www. lightscribe.com/labeltips もご覧ください。)

4 デザインの準備ができたら、白紙の LightScribe ディスクを、ラベル側を下にしてドライブに挿入してください。
- デザインをプレビューしたり、印刷したりする前に、ラベリングアプリケーションは LightScribe ディスクがドライブに正しく挿入されたかどうかをチェックします。ディスクが入っていない場合、または LightScribe ラベル側を下にしてディスクが挿入されなかった場合、ソ フトウェアはエラーメッセージを表示します。

5 LightScribe ラベルとしてデザインがどのように見えるかを
確認するプレビューオプションを選択します。
- デザインをプレビューすることにより、デザインが正しく配置されているかどうかを確認し、グレイスケールのデザインがどのように見えるかを表示します。

6 印刷オプションを選択し、ラベルデザインをディスクに送信します。
- デザインをディスクに印刷する際、ドラフト、標準、きれいの3つの画質から選択することができます。"ドラフト" とは高速印刷モードで、低レベルコントラストの画像が印刷されます。"きれい" はデザインエリアで最高のコントラストを提供しますが、書き込みに多少時間がかかります。下表はそれぞれのモードのおおまかな印刷時間を表しています。

設定 **Setting**	タイトルのみ	タイトルと 目次	フルラベル **(**画像 あり**)**
きれい	<4 分	<9 分	<36 分
標準	<3 分	<7 分	<28 分
ドラフト	<2 分	<4 分	<20 分

7 ラベルが終了すると、ドライブは自動的にディスクを出します。

FQA (よくある質問)

Q:LightScribe はどのように作動しているのですか。
A:LightScribe ディスクのコーディングは CD/DVD ドライブレーザに当たると色が変化します。このプロセスはフィルムの露光に似ていますが、LightScribe の表面はレーザーの強烈な光にのみ反応します。

Q:LightScribe を LightScribe 未対応ディスクで使おうとすると、どうなりますか。
A:ソフトウェアが LightScribe 未対応ディスクへのラベルイメージ送信を防御します。LightScribe 対応ソフトウェアは LightScribe ディスクに組み込まれた特徴から LightScribe ディスクを認識するよう設計されていますので、てきせつなメディアが挿入された場合にのみ、イメージが作成され、これをドライブに送信します。

Q:LightScribe ラベル書き込み中にパソコンで他の作業を行うことができますか。
A:はい。ラベリングプロセスは背景で実行されますので、ラベリングを進行中にパソコンを他の作業に使うことができます。

Q:LightScribe ラベル書き込み中にパソコンの前を離れることができますか。
A:はい。LightScribe は書き込みプロセス中にユーザによる操作を必要としないため、席を離れることができます。また、LightScribe システムはラベル書き込み中に "スリープ" 状態や省電力モードに入ることはありません。

Q:CD-RW や DVD±RW ディスクへ再書き込みするように、LightScribe ラベルにも再書き込みができますか。
A:いいえ。現在の LightScribe 技術では、消去ができません。
イメージが書き込まれると、永久的となります。

Q:紙で作成したラベルのように、LightScribe イメージも CD や DVD の回転中のアンバランスをもたらしますか。
A:いいえ。LightScribe ディスクは高画質 CD や DVD と同じように均等にバランスを保つことができるため、ドライブで回転中も均等に回転することができます。このため、ディスクにイメージを書き込んでもディスクの正しい回転に影響をおよぼすことはありません。

Q:LightScribe イメージングプロセスで有害な化学物質が放出されることはありませんか。
A:いいえ。レーザーイメージングプロセスがディスクのコーティングに含まれる顔料素材に化学変化を起こしますが、有害な化学物質が生成または放出されることはありません。

Q:ラベル書き込みの直後に LightScribe ディスクが熱くなったり、危険な状態になることはありますか。
A:いいえ。"データ書き込み" や "イメージの書き込み" という言葉は熱を伴うように見受けられますが、プロセスには実際の熱を伴うことはなく、危険はありません。

CD や DVD はドライブから出された直後に触れても安全です。

Q:LightScribe はカラーラベルを作成することができますか。
A:現在では、LightScribe 技術はグレイスケールでのみ御利用可能であり、白黒写真のような状態となります。LightScribe の発展戦略の中にはこれ以上の機能を伴うシステムの開発が含まれていますが、現時点ではビジネスや法的要求により、詳細情報の発行が禁じられています。

トラブルシューティング

DVDライターのインストール中、または通常の操作上でトラブルが発生した場合は、以下の情報をご参照ください。

読み込みの問題

症状	考えられる原因	解決策
動かない	電源がない	• 電源コードが正しく接続されているか確認して下さい。
	IDEケーブルが正しく接続されていない	• IDEケーブルとコネクタが損傷を受けていないか確認して下さい。
DVDライターが認識されない	電源がオフになっている	• DVDライターのLEDが点滅しているか確認して下さい。点滅していない場合、電源がないことを意味します。
	コンピュータのIDEポートとDVDライター間のIDEケーブルがきちんと接続されていない	• IDEケーブルのそれぞれの端がコンピュータのIDEポートとDVDライターにきちんと接続されているか確認して下さい。
読み込みの際に過剰なノイズが発生する	ディスクが異常だ	• 他のものと取り替えてください。
	表面にシールが貼ってある	• 傷をつけないように注意してシールをはがして下さい。
トレイを開くことができない（取り出し）	ソフトウェアにロックされている	• ソフトウェアを閉じてから取り出しボタンを押してください。
	ディスクが正しい位置にセットされていない	• ホールに小さなスティックやペーパークリップを入れて取り出して下さい。
• 少なくとも2度は書き込みをされているCD-RWディスクの前のセッションを読み込めない。 • 読み込みエラーが発生する	ソフトウェア上で"内容をロードする"または"セッションをインポートする"がクリックされなかった	• "内容をロードする"または"セッションをインポートする"を選択せずに記録した場合、読み込みはできません。Adaptec社の"セッションセレクション"のようなユーティリティソフトウェアを使用すれば以前のセッションを読み込むことができます。
	ディスク不良	• ディスク表面の傷や指紋、その他汚染要因物が原因でデータの読み込みができない場合があります。いつも清潔にしておいてください。
	音楽CDが入っている	• オーディオCDはコンピューター用のデータを含んでいませんので、オーディオCDがドライブ内にある時にコンピューターのコマンドを実行するとエラーメッセージが現れます。
	ディスクが反対だ	• トレイからディスクを取り出し、もう一度レーベル面を上にして入れてください。

書き込みの問題

症状	考えられる原因	解決策
書き込みができない	DVDライターをサポートしていないオーサリングソフトウェアを使用している	• DVDライターと同梱のオーサリングソフトウェアを使用してください。その他のソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェアの製造元に連絡し、DVDライターがサポートされているか確認して下さい。
	ディスクが反対だ	• レーベル面を上にしてディスクを入れて下さい。
	ハードディスクの空き容量が足りない	• 通常、書き込むデータの1.2から2倍のサイズが必要になりますが、書き込みの方法によって異なります。
	電源がない	• 電源コードが正しくコネクタに接続されているか確認して下さい。
	IDEケーブルが正しく接続されていない	• IDEケーブルとコネクタが損傷を受けていないか、曲がっていないか、傷ついていないか確認して下さい。特にピンをチェックして下さい。
書き込みエラーが発生する (バッファアンダーエラー)	• ネットワークが使用中だ • 書き込み中にスクリーンセイバーが有効となっている • その他のアプリケーションが実行されている	• スクリーンセイバーやその他アプリケーションの実行中、またネットワーク環境で書き込み中の場合、PCのCPUリソース不足が原因で、エラーが発生する場合があります。 • ネットワークからログオフし、再書き込みしてください。 • スクリーンセイバーや省電力モードをオフにして下さい。 • オーサリングソフトウェア以外のアプリケーションを終了してください。
	PCメモリが足りない	• PCのメインメモリ不足のため、ハードディスク空き容量のスワッピングが発生することがあります。これが発生した場合、ハードディスクからのデータはバッファアンダーランを起こし、切り捨てられる場合があります。 • メインメモリの容量を増やして下さい。
	"自動サーマルリキャリブレーション"が実行された	• BIOS設定で"自動サーマルリキャリブレーション"をオフにして下さい。 • オフにできない場合は、他のハードディスクを使用してください。
	DVD/CDメディア不良	• DVD/CDメディアが汚れている、傷ついているなどの原因が考えられます。他のDVD/CDメディアに再書き込みしてください。

症状	考えられる原因	解決策
	ハードディスク容量の不足	• 通常、書き込みデータの1.2から2倍の容量が必要になりますが、書き込み方法によって異なります。
ドライブが認識されない	コンピュータのIDEポートとDVDライター間のIDEケーブルがきちんと接続されていない	• IDEケーブルのそれぞれの端がコンピュータのIDEポートとDVDライターにきちんと接続されているか確認して下さい。
	DVDライターをサポートしていないオーサリングソフトウェアを使用している	• DVDライターと同梱のオーサリングソフトウェアを使用してください。その他のソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェアの製造元に連絡し、DVDライターがサポートされているか確認して下さい。
最高スピードでの書き込みができない	DVD/CDメディアが最高スピードに適していない	• 最高スピードに適合したディスクを使用してください。または、より低いスピードで書き込みしてください。
	バッファアンダーエラーが発生	• "バッファアンダーラン"の項目をご参照ください。
	DVD/CDメディア不良	• DVD/CDメディアが汚れている、傷ついているなどの原因が考えられます。他のDVD/CDメディアに再書き込みしてください。
	DVDライターをサポートしていないオーサリングソフトウェアを使用している	• DVDライターと同梱のオーサリングソフトウェアを使用してください。その他のソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェアの製造元に連絡し、DVDライターがサポートされているか確認して下さい。